



目次

貴重書紹介 松会版 徒然草	p.1
文学は起業の力 松田山再生を夢みて (前田 八重美)	p.2-3
図書館からのお知らせ	p.4

松会版 徒然草 版本2冊

紺無地表紙(縦27・6、横19・0糎)左肩に金箔散らしの題簽(縦19・5、横3・3糎)を押し、「つれ 草 上(下)」と墨書。表紙・題簽ともに古いものだが、改装後補。本文は四周単辺(縦22・2、横17・1糎)14行、1行15~30字と不定、漢字平仮名交じり。句読点(・)、濁点を付かし、上冊の第3・6・9・12・15・18・21・25・29・33・36・39・42丁、下冊の第3・6・9・12・16・19・22・25・28・31・34丁の各オモテ半丁分に菱川師宣風の絵を入れる。序~136段まで上冊、それ以下を下冊に収めるが、冊ごとに1段からの章段番号を頭書。版心「つ上(下) (丁付)」、全体にやや刷り疲れが見られる。下冊末に刊語「従古徒然之板行随有之誤 / 多故今又具改之令開板者也 / 相月良辰 / 松会衛板」(松会衛板は枠で囲む)。「相月」の上方に4字分(約8糎)ほどの空白があり、削去した跡か。これも後刷りの証となる。

掲出本は、江戸時代前期、出版の盛んな京都に対抗し、発展途上の江戸にて気を吐いた本屋「松会」(松会堂)の刊行である。市郎兵衛(2代目まで)・三四郎(3代以降)を名乗ったこの書肆の出版物は、当該時期に比較的珍しい江戸の本であること、書物の姿の良さ、師宣風の挿絵等によって人気が高い。松会版の単独出版は正保4年(1647)から享保15年(1730)に限られ、さらに「松会衛」と刻する例は寛文4年(1664)のみであること(雲英末雄・柏崎順子「松会版目録稿」1・2『日本古書通信』816・817)の指摘に従えば、寛文4年7月(相月=7月)の刊となる。先にふれた4字分の空白部に、元来この年紀があったか。



徒然草は、今でこそ日本文学を代表する名作として評価が高いけれども、成立以来さほどもはやされた形跡もなく、江戸時代に入って急に人気の出た不思議な作品である。当館には、慶長古活字版11行本(上のみ)以下、本文・注釈あわせて30部ほどの版本を所蔵し、掲出の松会版は、初印本でないのは惜しいが、もっとも見栄えのするもののひとつ。本文を見ると、第102段「尹大納言」・第137段「あはれなんと」において掲出本とが嵯峨本に一致し、松永貞徳本はそれぞれ「平大納言」・「あはれなれと」に作る。それ以外はすべて貞徳本の特徴を示す。(図版は第89段「猫また」の話)

文学は起業の力 松田山再生を夢みて

前田 八重美（前田環境美術株式会社社長）

昭和24年9月のことですから、もう半世紀以上むかしの話です。髪を洗っていて突然の咯血、これが、19歳から25歳まで6年間に及ぶ結核療養の始まりでした。特效薬はなかなか手に入らず、安静第一の単調な暮らしの中で私を支えてくれたのは、書物特に文学の書です。万葉・源氏・西行・方丈記・徒然草、あるいは鴟外・漱石と言った、文学史の教科書みたいな読書のほか、当時の流行作家檀一雄や太宰治、そして彼に私淑した田中英光、ちょっと渋いところでは井伏鱒二、戦後続々と発表される小林秀雄の芸術論なども手当たり次第眼を通しました。現在ではあまり人気がないようですが、亀井勝一郎の『私の美術遍歴』も愛読書のひとつで、芸術作品と詩・詩魂との関連にふれた文章を今でも思い出します。詩人では西脇順三郎がごひいき。もう少しあとになると、森有正・辻邦生などをよく読むようになります。自由に外へ出られない人間にとっては、本の開示する世界のみが、ほとんどすべてです。美しい自然も人の世のありようも、みな文学作品が教えてくれました。

他の人が御覧になったら、身動きのならない、単調でむなしい6年間のようで、きっと思われるでしょう。しかし、私自身の歩みを振り返って見ると、若い盛りの読書三昧の時間こそ、無体系の乱読ではありましたが、実は使い切れないほどの大きな財産であったのです。

文学は実社会の役に立たない、と誰が言い始めたのでしょうか。とんでもないことです。たとえば会社に入って新製品の営業に出かけたとします。品物の特徴を相手にきちんと伝えることは最低限の仕事にすぎず、さらに進んで対象に関する自分なりの物語を組み立て、顧客を納得させる力が必要です。店屋物の出前ではないのですから。そんな時、数多くの作品を読んだ経験が生きてきます。また、直接仕事とかかわりがなくとも、多方面にわたる豊富な知識と話題があれば、きっと感心し信頼して下さる方が出てきます。起業のヒントや開発のアイデア、人脈作りだって、文学からは芽生えてこないと断言出来るのでしょうか。私の経験では、その逆です。環境の質を向上させる会社を立ち上げ、街や橋の表情を誰も想像しなかったものへと変えてゆくにあたり、自己流の読み方であったにせよ、とにかく近代小説や古典を人以上に読んでいたことが、実際大きな力となりました。

たとえば、立原道造の詩が縁で著名な設計家と知り合いになったり、谷崎潤一郎をきっかけに財団の理事と会話がはずんだり、公園のデザインを児童文学や詩に求めたりすることは、いくらもあります。企業や官公庁を代表する方々の中には文学好きも結構多く、また雑学でも何かを沢山知っていることに対して、どなたも十分な敬意をはらって下さいます。法律・経済・情報理論についての知識は勿論大事ですが、文学の持つ一般性と説得力、創造性涵養の機能は、とても役に立つことが多いので

はないでしょうか。

話はがらりとかわりますが、いわゆる先進国では、莫大なエネルギー消費と引き替えに、快適で便利で、モノがあふれた暮らしをしています。私自身はずっと、このような「豊かさ」を心から喜ぶ気になれませんでした。現代社会が得たものは勿論数え切れないほどありますが、失ったものはそれ以上に大きいように思われます。情報の洪水に押し流される日々、他人を理解し受け入れる感性の衰弱、ものごとを分や秒単位でこまぎれにとらえるあわただしさ、生き甲斐の喪失、社会にも個人にも乏しくなった包容力、はなやかな装いの下の貧弱な思索・・・文明批評としていかにも平凡な物言いであることは、十分承知しています。しかし、平凡だからこそ誰も否定できない問題がそこにあるはずで。都市の繁栄の一方で、山が荒れ、川が濁り、雑木林が消滅し、ひとの心もまたすさんでゆくのをしているうちに、魅力あふれる自然の回復によって、これらの問題に対し処方箋をひとつ書くことが出来るのではないかと、考えはじめていました。そんな時、神奈川県松田町の荒れ山と出会うことになります。富士山を正面に眺め、ヤブウグイスやカッコウが鳴くのどかな山は、しかし放置されっぱなしの針葉樹林。クズ・ススキの生い茂るまま、足を踏み入れることさえためられるこの地に、うるおいに満ちた里山を創造することが、私の夢となったのです。

半世紀以上もむかし、私が書物に眺めた自然は、魅力にあふれていました。今も本を開けば、なつかしい情景が語りかけてきます。きっと当時の自然もみずみずしく輝いていたのでしょうか、そんな自然の多くは、もう地上から姿を消してしまいました。だからこそ、文学の中の美しい景観を手がかりに現実の山を再生させる、夢の意味があるのです。

(まえだ やえみ)



図書館からのお知らせ

学習アドバイザーによる相談時間帯の変更について

学生の皆さんが相談しやすいように、英米文学分野と歯学分野の相談時間帯を午後遅くに変更しました。「学習アドバイザー」は、学部学生に対して、授業の学習内容に関する助言・指導をおこないます。「学習アドバイザー」の席は、図書館1階インターネットコーナー前です。特定のテーマに関する調査方法や、作家・作品に関連する資料の紹介、レポートのまとめ方など、学習に関することは何でもご相談ください。

英米文学 月曜 15:00-19:00

歯 学 火曜 15:00-19:00

日本文学 水曜 9:30-13:30

文化財学 木曜 9:00-13:00

Dialogの提供開始

大型データベース「Dialog(ダイアログ)」のサービスを今年度から開始しました。学术论文や業界誌、特許、新聞、通信社ニュースなどの情報源から、文献情報だけでなく化学物質の詳細データ、世界中で公開された特許の情報、人口統計データ、財務データなど様々な情報が収録されています。図書館以外でも学内であれば24時間利用可能です。

図書館ホームページの「DialogWeb」から接続できます。

展示会の予定

総持学園創立80周年記念展示 「和歌と物語 --鶴見大学図書館貴重書80選--」

会 期：平成16年10月8日(金)～31日(日)

開館時間：午前10時～午後6時(土曜日は午後4時30分まで)

日曜・祭日は閉館、但し大学祭期間中は土曜・日曜とも午前10時～午後6時

会 場：鶴見大学記念館3階

第10回企画展「現代日本の絵本作家100冊」

期 間：平成16年10月14日(木)～12月15日(水)

会 場：図書館エントランスホール

利用マナーについて

騒音、飲食などについての苦情が寄せられています。おしゃべり、飲食、携帯電話の利用、図書館資料以外のコピーなどの迷惑行為を行った場合には、図書館から退去していただきます。

アゴラ - 鶴見大学図書館報 - 第113号 2004年10月8日発行

編集・発行 鶴見大学図書館

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 Tel:045-580-8274 Fax:045-584-8197

鶴見大学図書館ホームページ <http://library.tsurumi-u.ac.jp/library/>